石川県議会議員 太郎田まり 県議会便り

Mari's Voice



発行：太郎田まり事務所　金沢市尾張町2-10-18-101 討議資料

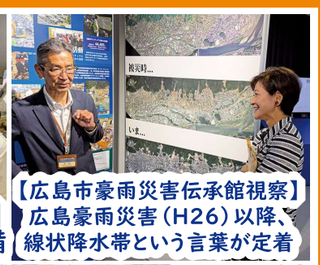
2026年 秋冬号

Mari's Report


【9月21日】国連が定めた手話言語国際デー。兼六園や金沢城石川門等ブルーにライトアップされ広報啓発


【いしかわ国際ピアノコンクール】石川県でも国際コンクールが開催されています♪


【移動歯科検診車】県の補助金を活用し整備


【広島市豪雨災害伝承館視察】広島豪雨災害（H26）以降、線状降水帯という言葉が定着


【ノマジョ・カナザワの皆様と(^^)】農業に従事する女性たちを応援！


【動物愛護フェスティバル】ボランティアの皆様と命の尊さと終生愛育の啓発活動をしています！


【かなざわピンクリボンPJ】毎年参加し、乳がんの早期発見早期治療を啓発



【防災運動会】ダンボールベッドの組立・AED利用法を学ぶ

TOPIX 飼い主のいない猫（野良猫）のTNR活動

飼い主のいない猫が増え、住民トラブルや糞尿被害が増えています。これは環境問題と捉えるべきです。**野良猫を地域猫**とする**TNR活動**をお住まいの地区の方へご紹介、活動参加をお願いします。また、猫の譲渡会等で**里親になる方も募集**しています。かわいい猫たちを見に来てください！

問題点

- 繁殖力が強い・・・　１組の雄と雌から１年で約80頭が生まれています
- 短い命・・・・・　野良猫の多くは生まれてすぐに捕食、交通事故等により命を落とし、平均寿命3～5年です
- 住民トラブル・・・　糞尿被害、倉庫や納屋への侵入、鳴き声などの騒音



不幸な命を増やさないための**TNR活動に、地域住民主体**での活動参加をお願いします。

対策

【TNR】・・・Trap（トラップ）、Neuter（ニューター）、Return（リターン）


捕獲


避妊去勢


手術の目印 V字の切込み（さくら猫）

元の場所に戻す


一代限りの命を全う（増やさない）

住民主体

行政やボランティア団体だけではマンパワーの負担が大きいです。
地元に住む方が見守り・活動することで、外部から来た猫に気づける。→不幸な命を増やさないためのTNR活動に一早く取り組めます。具体的な活動はアドバイザーが助言してくださいます。野良猫を地域猫として見守りましょう。

野良猫・・・避妊去勢がなされていない、または地域住民全体が認知していない猫
地域猫・・・行政・ボランティア・地域が関わり、避妊去勢や管理がなされており、地域住民に認知されている猫

ご注意「**自宅の固定電話が危ない!**」
防犯機能付き電話機を導入しましょう！
緊急の電話は110番
相談の電話は＃9110



お困りごとやご相談は、ご遠慮なく電話やFAX・メールでご連絡ください。



石川県議会議員
太郎田まり
〒920-0902
金沢市尾張町2-10-18-101
ＴＥＬ：076-224-5501
ＦＡＸ：076-224-5502
Mail: ishikawa@tarouda-mari.com

3期目の任期も残り約半年となりました。振り返れば、災害対策、福祉、教育、生活の安全等に奔走した3年半でした。

令和5年に「石川県成長戦略」が策定され、未来に向けた一歩を踏み出したところでの能登半島地震、豪雨災害が発災しました。毎年、災害対策として河川の浚渫等実施しておりますが、「観測史上最大」の豪雨などでは排水が追い付かず浸水被害も発生しました。復旧するだけではなく、将来の災害対策として排水ポンプの強化やトイレカーを導入するなど、奇しくも災害を契機に防災力が強くなったと感じています。

私も防災士の資格を取り、地域の防災活動、備蓄品のチェックなどに取り組んでいます。

その他、通学路に消雪装置を新設、がん患者さんへのウィッグ助成制度創設、教職員の多忙化改善、兼六園の県有地化による魅力向上とオーバーツーリズム対策など、これからも、身近な暮らしの安心安全を守ってまいります。

ボランティアや寄附のご協力に感謝申し上げます。



石川県議会議員
太郎田真理



12月20日(日)13時（受付12:45）
コロナワールドボーリング場（無量寺）
会費:2,000円（2ゲーム、シューズ代込み）

お申し込みはQRまたは、電話 076-224-5501

TOPIX 新産業展示館・アリーナ構想

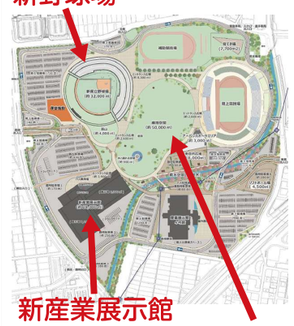
西部緑地公園の再整備が計画されています。防災機能強化、周辺道路の交通状況など総合的な見直しです。

野球場 移転建替え　産展1～3号館 解体 緑地化　新産業展示館 新設

この中で、**新産業展示館にアリーナ機能を追加**することを議会で求めました。理由は、県内には数千人規模のイベントや、大規模な展示会を開催できる施設が無い等です。アリーナの観客席は可動式とし、平日は展示会、週末はスポーツや音楽イベントができ、災害時には支援物資を積んだトラックが直接アリーナに乗り入れられるなどの防災機能も備えます。

議会では、**基本構想では想定していない**との答弁でしたが、この基本構想は2年前のものであり震災で得た**ノウハウを構想に加えるべき**です。また、北國銀行さんがアリーナ建設を見送っていることからも、民間企業の知恵もお借りして、計画の見直しが必要ではないでしょうか。**アリーナ構想を引き続き求めていきます**。

再整備構想



産業展示館1～3号館は解体

議会だより



令和8年9月定例会本会議において、次の質問・要望をしました。
本会議での質疑（抜粋）を報告いたします。

■ 飼い主のいない猫（野良猫）対策について

太郎田　子ども達に、ペットの愛護啓発事業と合わせ、正しい飼育、マナー、野良猫問題やTNR活動実施方法を授業として教育すべきだ。

答弁　小学生を対象に、実際に犬とふれあう適正飼養教室を開催している。どうすれば人と動物が気持ちよく過ごせるかを学ぶデジタル教材を市町の教育委員会に周知している。

Mari's Voice
ペットに愛情を注ぐ、正しく飼育する、最期まで飼うことなどは学ぶ機会を設けているようですが、野良猫がなぜ増えて、どんな病気になり、どんな最期を迎えるのか。ボランティア団体さんの話を聞くと目を瞑りたくなるような話もあります。こういった現実も子どものうちから学び、不幸なペットが増えないよう、一層の教育が必要です。

■ 乙丸陸橋の歩行者・自転車安全対策について

太郎田　整備（架け替え）に向け調査検討予算が提案されている。自転車利用の方策を聞く。

答弁　整備にあたっては、交通の円滑化、自転車利用、安全に配慮する。

太郎田　既存階段右下に、自転車用スロープの設置を求める。他県での設置事例もあり、安全性は実証済みだ。

答弁　階段が狭く、勾配が急なことから、自転車と歩行者のすれ違いが困難。現在の橋梁でのスロープ設置は難しい。

←階段右下、手すりの下に自転車用スロープを整備。階段の幅を確保し、自転車の利便性を高める。

Mari's Voice
架け替えには何年もかかります。であれば今、安全を確保したうえで、利便性を高め、かつ財源も多くを必要としない整備を求めました。

■ 西部緑地公園・産業展示館再整備について

太郎田　成長戦略でR14年度240万人を目標とした公園利用者数は約半数となっている。新産業展示館にアリーナ機能を加え、さらなる賑わいを創出することを求める。

答弁　基本構想では、アリーナ機能は想定していない。現在想定している施設規模ではイスの収納、展示スペースの確保に課題があり困難。

■ 急傾斜地崩落対策と市町連携による地域防災強化について

太郎田　9月、馬坂の石積みが崩落した。同様の危険個所の調査・点検をどのように進めるか聞く。

答弁　住宅地に隣接する急傾斜地について、定期巡視や臨時点検を実施。住民からの通報の際には、市町とともに現地確認を行っている。

■ 警察の事情聴取について

太郎田　兵庫県で、障害福祉施設の女性職員が亡くなった。不当な捜査・逮捕・勾留があったのではないかと報道されている。県警では、障がい者さんや職員から事情聴取の際、接し方を学ぶ機会を設けているか聞く。

答弁　時間や場所に配慮し、障がいの程度に応じて適切な対応を行う。警察学校や捜査員の研修で学んでいる。

■ 「石川県民の日」の制定について

太郎田　「県民の日」がない。歴史文化の理解、郷土愛を育み、県外の方にも豊かな石川を知ってもらうために、「石川県民の日」の制定を求める。

答弁　歴史文化の関心を高め、郷土愛を育む趣旨で「いしかわ文化の日」と定めた。この日を中心に、故郷への誇りを育てる取り組みをする。

石川県民の歌
県庁電話の保留音に!
5月議会で変更を提言
↓
録音した音源を保留音に変更
11月 いしかわ総文プレ大会

～ 未来を拓く　社会のドクター　美しい日本語をもう一度 ～

3期目振り返り



粘り強く要望
教職員の多忙化改善! スクールロイヤー制度導入!

保護者対応で、ごく一部、過度な要求を求められることがあり、学校では大きな負担となっています。教員が休職するなど、教員不足にも拍車がかかっていました。対策には相談窓口の強化が急務であることから、教職員が弁護士に相談できる「スクールロイヤー」制度を導入しました。

- 教員の本来業務である授業・研究時間の確保
- 子どもと向き合う時間の確保
- 教職員の心の負担を軽減

安全確保
通学路に消雪装置を新規整備

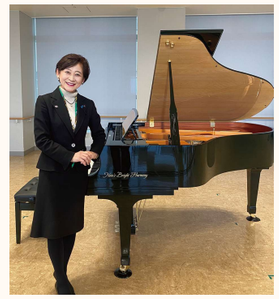
乙丸陸橋前後の通学路は、道が狭く、雪が降ると積みあがった雪で見通しも悪く、安全の確保が課題でした。



- 降雪時の安全
- 見通しの確保

能登ヒバピアノを県庁19階展望室に、能登空港待合室にもピアノを設置

県木のアテ（能登ヒバ）は、主に能登地方で植林され、硬く耐久性が高く、住宅建材や漆器などに利用される木材です。楽器など新たな活用が進んでいます。



- 県産材の利用拡大
- 林業従事者支援

道路の不具合をLINE通報できるように

道路の不具合（陥没、白線が薄いなど）は、道路管理者が全ての道路を点検して回ることは難しいです。そこで、県民の皆さまに協力をお願いし、LINEで位置情報と写真を送って通報システムができました。

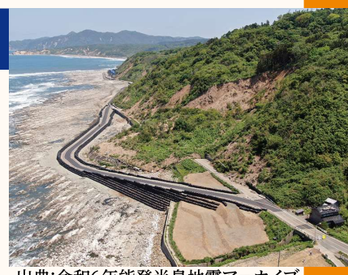
- 国道・県道・市道どこでも通報可能
- 事前に画像確認でき、作業効率可

いしかわデジタル道路通報システム→

震災遺構を残し、防災の学び舎と観光資源化

東日本大震災、熊本地震でも震災遺構を残し、防災を学ぶ施設整備がされています。能登にも風化させない学び舎が必要です。隆起した海岸などは「能登半島絶景海道」のルートとして付加価値を付け魅力向上を図ります。

- 震災遺構を残し風化させない
- 防災の学び舎
- 能登半島絶景海道など観光資源に



出典：令和6年能登半島地震アーカイブ（提供者：石川県）/CC BY-NC-SA

これから
兼六園・金沢城公園周辺の魅力づくりとオーバーツーリズム対策

R7年に、オーバーツーリズム対策の財源として、兼六園の入園料（320円）見直しを議会で提言しました。県は、兼六園の土地は国有地で、入場料は兼六園の維持にのみ必要な額のため、価格改定できないとの答弁でした。であれば、県有地化を求めたところ、R8年に県も方針転換。県有地化に向け舵を切りました。

- 兼六園を含めた観光エリアの魅力向上
- 入園料見直しによる観光整備の財源確保
- 兼六園の県有地化

